

「田中貴金属グループ CSR 報告書 2021」を発行

TANAKAホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田中 浩一郎）は、2021年10月20日に「田中貴金属グループ CSR 報告書 2021」を発行しました。

本報告書は、貴金属がもたらすゆとりある豊かな社会と美しい地球の未来の実現に向けて田中貴金属グループが進めているCSR（企業の社会的責任）活動を報告するとともに、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。当社グループでは2004年より環境報告書を毎年発行し、2007年からはCSR報告書として掲載内容を拡充しており、今年で18回目の発行となります。

本報告書のPDFデータは以下URLよりダウンロードいただけます。

・ダウンロードページのURL：<https://www.tanaka.co.jp/about/csr/>



表紙イメージ

～「CSR 報告書 2021」主なトピックス～

<新型コロナウイルス感染症への対応>P06～P07

お客様、ならびに従業員および家族の安全を確保し、操業を停止せずにお客様への供給責任を果たすため、日々変化する状況に応じて迅速に対応しています。在宅勤務や時差出勤の導入、ワクチン接種時の特別有給休暇付与といった社内制度の制定、工場・事業所や店頭での取り組みを紹介しています。

<循環型社会の構築をめざして>P08～P11

① 独自の環境指標で事業のサステナビリティを追究

2003年に閣議決定された「循環型社会形成推進基本計画」の指標に合わせた形で2018年度に田中貴金属グループ環境指標を策定しました。自社グループで地金の製造からリサイクルまで全ての工程を一貫してまかなえる田中貴金属グループだからこそ数値化できる「貴金属地金フロー図」を整理するとともに、「資源生産性」「循環利用率」を算出しています。外部調達地金単位あたり利益を示す「資源生産性」は2020年度に過去最高を更新しました。

② LIMEXの活用によりCSR報告書を再生利用

前年に引き続き、「LIMEX（ライメックス）」で印刷したCSR報告書を廃棄せずに回収し再資源化したコップを全従業員に配付しました。LIMEXは、地球上に豊富に存在する石灰石を主原料とし、水と木材パルプ、石油の使用量を削減して紙やプラスチックの代替となる、環境に配慮した素材です。CSR報告書2021もLIMEXで印刷しており、従業員が読み終えた冊子を回収して再資源化する予定です。

<環境異常対策の歴史>P12～P13

水質汚濁、大気汚染などを防止するため法規制値よりも厳しい社内自主基準値を設定しており、この自主基準値を超過した場合を「環境異常」と定義しています。本特集記事では、過去50年以上にわたって法規制値の50%で維持してきた水質の自主基準値や管理体制の変遷など、環境汚染を起こさないためのさまざまな未然防止活動・再発防止対策の歴史をまとめました。

＜持続可能な未来に向けて（研究開発）＞P14～P15

次世代半導体に向けた高純度貴金属プリカーサーの開発や「令和2年度 触媒工業協会技術賞」を受賞した「疎水性貴金属触媒の開発」、新型コロナウイルス感染症の終結に向けて自社が保有する知的財産権を行使しない宣言への賛同について紹介しています。

＜品質と信頼＞P16～P17

RBA 行動規範の遵守や、EcoVadis シルバー認証の継続、責任ある鉱物調達など、世界中のお客様にご満足いただくための CSR 評価への取り組みを紹介しています。

＜地球環境を守る＞P18～P21

CO₂ 排出量、産業廃棄物排出量、水使用量などの環境負荷低減活動を紹介しています。また、コロナ禍でも従業員が自宅で参加できる生物多様性保全活動として、ノカンゾウを育成し増えた株を元の生息地に戻す取り組みを進めています。

＜地域・社会への貢献＞P22～P23

6年連続となる東京都スポーツ推進モデル企業認定、ブラインドサッカーをはじめとする障がい者スポーツ支援、田中貴金属記念財団による研究助成金制度などの社会貢献活動を紹介しています。

＜一人ひとりの活躍＞P24～P27

働き方改革や人材育成の取り組みに加えて、近年制度を拡充している子育てと仕事の両立支援について紹介しています。また、2012年4月より毎日発行し2,000号を越えたCSR通信について紹介しています。

＜より安全な職場環境づくり＞P28～P30

全従業員が一丸となって進めている安全活動について多数の事例を掲載するとともに、衛生活動に関して外部から認定を受けた「健康優良企業（銀の認定）」、「健康優良法人2021」について紹介しています。

＜誠実で健全な企業であるために＞P32～P33

事業継続計画（BCP）の一環として2020年度に国内10拠点へ導入したライブカメラの事例を掲載しています。また、人権の尊重やハラスメント教育など倫理に関わる取り組みも紹介しています。

＜CSR パフォーマンス＞P34～P35

障がい者スポーツへの応援観戦およびボランティア参加者の延べ人数・実人数を併記しているほか、交通事故発生件数は通勤・業務中だけでなくプライベート時も含めて集計するなど、当社ならではのユニークなCSRデータを多数掲載しています。

■ T A N A K Aホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22階

代表：代表取締役社長執行役員 田中 浩一郎

創業：1885年 設立：1918年※ 資本金：5億円

グループ連結従業員数：5,193名（2020年度）

グループ連結売上高：1兆4,256億（2020年度）

主な事業内容：田中貴金属グループの中心となる持株会社として、グループの戦略的かつ効率的な運営とグループ各社への経営指導

HPアドレス：<https://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<https://tanaka-preciousmetals.com>（産業製品）

※2010年4月1日にT A N A K Aホールディングス株式会社を持株会社とする体制へと移行いたしました。

■田中貴金属グループについて

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇り、長年に渡って、産業用貴金属製品の製造・販売ならびに、宝飾品や資産としての貴金属商品を提供。貴金属に携わる専門家集団として、国内外のグループ各社が製造、販売そして技術が一体となって連携・協力し、製品とサービスを提供しております。また、さらにグローバル化を推進するため、2016年にMetalor Technologies International SAをグループ企業として迎え入れました。

今後も貴金属のプロとして事業を通じ、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核5社は以下の通りです。

- ・ T A N A K Aホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・ 田中貴金属工業株式会社
- ・ 田中電子工業株式会社
- ・ 日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ株式会社
- ・ 田中貴金属ジュエリー株式会社